



野幌保

札幌市立上野幌中学校
学校だより第8号
令和7年度12月18日

◆◆2学期を振り返って◆◆

長い2学期も残すところわずかとなりました。「行事は人を育てる」という言葉通り、2学期は生徒たちの目覚ましい成長を実感できる場面が多くありました。特に、「秋華祭」と「総合学習活動日」は、生徒一人一人が主体的に取り組み、仲間と協力しながら困難を乗り越える貴重な機会となりました。

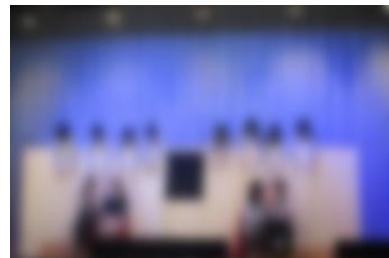
＜秋華祭＞

テーマである光合成「日光、二酸化炭素、水」の3つの要素が必要不可欠であるように、「ステージ」「展示」「合唱」の3つをどれも全力でやり切る、という共通の目標に向かって開催されました。どの学年も「よりよいものを作り上げたい」という強い思いを胸に、自ら課題を見付け、仲間と知恵を出し合い解決していく、主体的な姿勢が見られました。ステージ部門では、日頃の練習の成果を存分に発揮しました。スポットライトを浴びて堂々と自己表現をする生徒、裏方とし



て機材準備や照明操作に奔走する生徒、皆がそれぞれの持ち場で輝いていました。展示部門では、各学年が工夫を凝らした展示を行い、日頃の学習を表現していました。来場者が楽しめるよう趣向を凝らした展示は生徒たちの熱意と創造力が伝わってきました。また、学年合唱では、限られた時間の中で学年練習を重ね、本番では、全員が心一つにハーモニーを奏で、見ている者の胸を熱くしました。吹奏楽部も日頃の練習の成果を発揮し、迫力ある素晴らしい演奏を披露し、会場を

盛り上げました。そして秋華祭の行程を企画・運営した生徒会役員の尽力も見逃せません。開会式、幕間企画、閉会式など学校祭に一体感と活気を与えてくれました。長期間にわたる綿密な打ち合わせや制作物、全校生徒が楽しめるよう工夫を凝らした企画は、生徒たちの自治的な活動の象徴と言えます。会の進行役として堂々と役割を果たす姿は、学校のリーダーとしての自覚と責任感を感じさせるものでした。この秋華祭を通して培われた仲間と協力し合う力、企画力、実行力、表現力は、今後の学校生活における大きな財産となるはずです。最後に、PTAの皆様によるバザーのおかげで、生徒たちにとって忘れられない素晴らしい時間となりました。事前の準備から当日の運営、後片付けに至るまで、皆様の温かいご支援とご協力に、心よりお礼を申し上げます。



＜総合学習活動日＞

去る10月30日（木）に「総合学習活動日」を実施しました。この活動日は、各学年がそれぞれのテーマに基づき、探究的な学習に取り組みました。1年生は、「地域との関わり」をテーマに、9つの事業所の方々を学校にお招きし、講演会、インタビュー活動、レポート作成を通じて理解を深めました。2年生は「理想の生き方と働き方」、3年生は「理想の生き方と社会とのかかわり」をテーマ



に学習に取り組みました。1年生は9の事業所の方が学校へ来校し、講演会、インタビュー活動を行いました。2年生は、「理想の生き方と働き方」をテーマに、実際に職場体験を行ったり、街頭インタビュー活動を実施したりして、社会の多様な側面に触れました。3年生は「理想の生き方と社会とのかかわり」をテーマに、4名の技術士による講演会、続いて3校の私立高校の先生方による講演会を実施し、自

身の進路や将来について深く考える時間となりました。これらの活動を通して、生徒たちは与えられた課題に対して受け身になるのではなく、「地域のために何ができるか」「自分の将来の仕事とは」といった問い合わせに対し、自ら興味をもって追究する姿勢を学ぶことができました。この経験が、今後の学校生活における主体的な学びへ繋がることを期待しています。

◆地域環境の美化に貢献～登校時間清掃活動を実施しました～◆

11月7日（金）に2年生による秋の登校時清掃活動を行いました。（3年生は4月25日、1年生は8月29日に実施済みです）この清掃活動は、日頃お世話になっている地域を自分たちの手できれいにすることで感謝の心をもつことや、ボランティア活動を通じて地域社会に貢献することを目的にしています。生徒たちは、通学路のゴミを拾い集め、地域の美化に努めました。このような経験は、将来社会で出た時にも役立つ、貴重な財産となるはずです。



◆◆チーム担任制の導入について（第2回試行期間を終えて）◆◆

本校では「教職員全員で全ての子どもたちを見守る」という理念のもと、来年度よりチーム担任制を導入する予定です。この度、2回目の試行期間を終えることができ、保護者の皆様のご理解とご協力に、心より感謝申し上げます。現在、学校では取組についての分析を行っている最中ですが、現時点での成果と今後の課題が見えてまいりました。

1. 複数の目によるきめ細かな指導の継続

チーム担任制の最大のメリットである「複数の教員の目」で子どもたちを見守る体制は、引き続き強化してまいります。一人の担任が抱え込むことなく、チーム内での日常的に情報共有を徹底し、多様な視点で子どもたちの変化やSOSのサインにいち早く気付けるように努めます。

2. 生徒の主体性の育成支援

複数の教員との関わりを通して、子どもたちは多様な価値観に触れ、主体的に学校生活を送れるようになります。担任の指示待ちではなく、自ら率先して行動できるような学級・学年づくりを推進していきます。

3. 保護者・生徒との連携強化と相談体制の明確化

「誰に相談すればいいか分からない」という保護者様や子どもたちの懸念を解消するため、「窓口担当」となる教員や相談しやすい体制を明確にお伝えする予定です。相談内容に応じてチーム全体で情報を共有し、組織的に対応する体制を確立してまいります。

4. 指導方法の共有と一貫性の確保

教師間で担任が入れ替わる際、指導方法と規律の伝え方に違いが生じ、子どもたちが戸惑うという課題がありました。今後は、チーム内で指導方針や子どもたちへの関わり方の共通理解をより深め、指導方法の「共有」を図ります。誰が担任をしても一貫性のある、ぶれのない指導を徹底する必要があります。

今後は、試行期間で見えてきた課題について校内で時間をかけて話し合い、改善を図りながら、子どもたち一人一人の健やかな成長を目指してまいります。引き続き、本校の教育活動へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

◆◆後期懇談会へお礼◆◆

先日5日間にわたり実施いたしました懇談会におきましては、ご多忙の中、また寒さが厳しい中、多くの保護者にご来校いただき、誠にありがとうございました。短い時間ではございましたが、学校でのお子様の様子や成長されている姿をお伝えし、またご家庭でのご様子や今後の課題について直接お話しできることは、大変有意義な時間となりました。いただいた貴重なご意見や情報につきましては、今後の指導に生かしたいと考えております。今後とも、お子様の健やかな成長のため、学校と家庭が連携して取り組んでいけるよう、より一層努めてまいります。引き続き、本校の教育活動へのご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。

